

藤樹人間学塾…

藤樹思想を学び考え実践する

塾長 田中 清行

「藤樹人間学塾」では、藤樹先生関連の著書を中心に思想を学ぶとともに自らの頭で考え、時事問題と組み合わせて皆で議論しながら思考を深め、日々の生活の場で実践することを目的に毎月開催しています。本稿ではその概要をお伝えいたします。

■一月、安曇川公民館で第百五十七回人間学塾を開きました。大阪から一名、大津から二名を入れて七名の参加でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』（中公バックス日本の名著）

●今日のポイント

・心の奥底の真実・不実・・・心を見ることは難しい。善に誠実なところがあれば一度は欲に惹かれるとしても最後は善の道に戻るはずだ。志のない人は善悪の道を漂う。

◇フリートークキング

・「天命とは何かを考えた。自分の命は自分で守る。能登の人々の支援など、やれる範囲のことはやることが義であり天命だと思う」

■二月、第百五十八回人間学塾を開きました。京都から一名、大津から四名を入れて九名（うち女性四名）の参加でした。初参加三名。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・性と心と気・・・朱子は、絶対の世界である太虚（理＝大宇宙）が目に見える相對の世界（氣）に万物を存在させているが、理と気は二元であるとする。一方王陽明は、人間は（大宇宙の分身であるので）生まれた時から心と理（体）は一体であり、心が後から付け加えられたものではないとする。蕃山は両者の説を併取して理気混融説で



ある。

◇フリートークキング

・「初参加して中江藤樹先生の「孝」の思想を教えてもらってよかった」

・「いろいろな資料を提供してもらったので感謝。復習する」

■三月、百五十九回人間学塾を開きました。大津から五名を入れて八名（うち女性四名）の参加でした。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・貧は世界の福の神・・・世の中の人が残らず富めば天地そのまま尽きてしまうでしょう。貧しいと努力するが、生まれながら裕福だと努力しないのでやがて衰退する。

◇フリートークキング

・「息子のことで悩みがあるが、自分が変わらないといけないと思った」

■四月、第百六十回人間学塾を開きました。大津から五名を入れて十二名（うち女性五名）の参加でした。初参加一名。

●テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』

●今日のポイント

・百姓の清福・・・堯舜（徳のある

君主）の民は貧しくはあるが乏しいことはない。無病息災なら清福ではないか。徳のない富貴は浮いている雲のようなものである。

・豊かさとは貧しさを分けるのは心・・・

心が愛で満たされている人は、その人に必要なものは、仲間でもお金でもすべてもたらされる。（斎藤一人）。

◇フリートークキング

・「学んだことを話すと定着する。私心がないか、本当に相手のことを思っているか、考えてやるとよい結果が得られる」

・「心の住家。藤樹先生は良知という心の住家に到ることを考えられ、身も母のもとに帰られた」等の意見をいただきました。ありがとうございました。

人間学に関心のある方は是非お越しください。無料です！

藤樹人間学塾 今後の予定

六月七日（土）、八月二日（土）、

九月十三日（土）

■時間（原則）十五時～十七時

■場所（原則）安曇川公民館

